

## 【平成19年重大ニュース】

1月3日 「ぜんざい会」

合計37人（名簿記入者のみ）が参集し、バスケで汗を流し、懇親を深めました。

大学でプレーしているOBと現役の戦いは、見ごたえがありました。

参加者から現役に31,500円のお年玉をあげました。

1月14日 新人戦県大会（男子）

男子は一部昇格を果たし1回戦は不戦勝。2回戦の嘉穂高校は73:51で破りましたが、

3回戦で中部地区5位の九産大九州に75:99で敗れ、県大会ベスト8の成績でした。

九産大九州は県大会4位の成績。中部地区の5～8位の力は紙一重です。

3月25日 筑籠会総会

役員改選で赤星会長が勇退され、佐伯会長（高25回）が選出されました。

また、若手の戸井君（高55回）鳥飼君（高57回）が、新役員に選出されました。

4月21～22日 九州大会地区予選（男子）

一部4位の男子は、準々決勝からの出場。対戦相手は、新人戦で苦杯を喫した九産大九州。

ノータイトムでの劇的なタップシュートで、80:78の勝利。一部残留です。

5月3～4日 インターハイ地区予選（男子）

一部4位の男子は、準々決勝からの出場。九産大九州との3回目の戦いを予想していま

したが、伏兵の三部光陵が、九産大九州を20点差で破り、勝ちあがってきました。

勢いに乗る光陵は筑紫丘をも94:69で破り、一部昇格。筑紫丘は中部地区5位となり、

県大会4位の九産大九州は、なんと三部陥落です。

5月5日 懇親会

男子バスケットボール保護者会に参加しました。ジェフによると、1年生16人の中に有望な選手が6人いるとのこと。

出席は、木村名誉会長・佐伯会長・今石顧問・石川顧問・織戸です。

5月11日 シニアバスケットボール九州大会（伊万里）

那珂川クラブとしてシニア大会（40歳以上）で3年ぶりの全国大会出場を目指しました。

大分・諫早・佐賀を連覇し、決勝は昨年準決勝で敗れた優勝チーム長崎オールドスターズと対戦。89:54で圧勝し、パート優勝。別パートで優勝した大牟田クラブと共に、全国大会出場です。

筑籠会からの参加は、23回織戸・徳永・27回広田・29回阿比留・30回宮本・32回堤の6選手です。

5月13日 九州大会予選県大会（男子）

1回戦シード。2回戦小倉工業を98:86で破り、準々決勝で福大大濠に敗れ県大会ベスト8です。県大会で勝つよりも、中部地区で勝つことの方が難しい感じです。

5月27日 インターハイ予選県大会（男子）

1回戦シード。2回戦柳川を93:88で破り、準々決勝で戸畑に80:97で敗れ県大会ベスト8です。スタメンの平均身長が174cmと、常に10cmのビハインドの中で本当に良く頑張ったチームでした。

7月16日 ウインターカップ2次予選（男子）

1・2回戦シード。3回戦で柳川に102:115で敗れ、県ベスト12の成績でした。

8月10～15日 合宿（女子）

女子が筑紫丘で合宿。筑籠会から補助金2万円を贈呈しました。男子は日程が合わず、実施しないとの事。

9月17日 壮年大会

「壮年バスケットボール大会」が福大大濠で開催。筑籠会からは14人の参加です。

RKBテレビとRKBラジオが取材に訪れ、筑紫丘をメインにインタビュー。「見たバイ」「聞いたよ」と多数の人から言われました。

9月30日 創立80周年

筑紫丘創立80周年記念事業の一環として、修猷館高校（男女）を招待して記念試合が行われました。

11月4～18日 新人戦予選

男子は中部地区5位で三角リーグ（入替戦）に出場。3部勝ちあがりの宗像に74：89、中部地区4位の光陵に60：67で連敗し、3部陥落。4年間16大会連続での、県大会・ウインターカップ2次予選出場が途切れてしまいました。残念。コーチのジェフを、bjリーグ「ライジング」のスタッフに採られたことが痛手です。

女子は4回戦を勝ち進んで三角リーグ（入替戦）に出場。1位の九州女子には37：133と圧倒されましたが、8位の福岡第一と大接戦。67：70で惜敗しましたが、県大会出場にあと一歩です。

11月23～25日 シニアバスケ全国大会（前橋）

那珂川クラブは、シニア（40歳以上）の全国大会に3年振り4回目の出場。栃木・新潟を連覇しましたが、準決勝で優勝チーム埼玉に敗れ、3位の成績でした。二人が肉離れ、二人が捻挫。選手層の違いが敗因です。埼玉は、でかかったなあ、190cmが5人もいました。

今回は、スーパーシニア（50歳以上）にも参加。県での予選は無しで、社会人バスケットボールでプレーしている仲間を編成し参加しました。結果は1勝1敗でした。筑籠会からの参加はシニアは29回阿比留・32回堤の2選手。スーパーシニアは23回徳永・織戸の2選手です。

12月15日 忘年会

OB・OGと竹野先生（昭和38年～49年顧問）・原先生（昭和40年～44年顧問）を囲み、保護者も参加されて、総勢28人で歓談しました。